



田中圭(たなか けい)

1984年生まれ、東京都出身。2000年にデビューし、映画、ドラマ、舞台など話題作に多数出演。18年、『おっさんずラブ』(テレビ朝日系)、『健康で文化的な最低限度の生活』(フジテレビ系)に出演。19年4月から2クール連続放送のドラマ『あなたの番です』(日本テレビ系)に原田知世さんとW主演。



Interview

仕事人インタビュー

本来、社会は 楽しいところ 全力で楽しんで

田中圭さん
俳優

——出演ドラマがことごとくヒットしていますね。

取材が増えるなど環境は変わりましたが、僕自身は変わったとは思っていません。常に一つひとつの作品を面白くすることに力を注いでいるだけです。ただ、ドラマ『おっさんずラブ』に出演して、性的マイノリティーの人たちからもたくさんお手紙をいただくようになりました。素直に嬉しいし、こういう方々がもっと堂々と生きられる社会に

なればいいと思いました。僕は「LGBT」という言葉で括ってしまうことがそもそも何か違うと思えます。ただ一人の人間として接すればいい。演じるうちに、自然とそう思うようになりました。

——ドラマ『健康で文化的な最低限度の生活』では、福祉の最前線で働く人を演じました。

ケースワーカーの仕事は、知れば知るほどすごいと、

頭が下がる思いでした。どんな職業にもその職業のやりがいや大変さ、苦労があるとあります。

福祉に限らず、社会の中には「もっとこうなればいいのに」と思うことは多々あります。何かを変えるために仕事をしているわけではないけれど、役者である僕たちにしかできない発信があると思っています。

——舞台のお仕事も欠かさず続けられていますね。

芝居を本当の意味で楽しめる、すごくぜいたくな環境です。2時間の台本を1カ月間ずっと読み込み、さらに1カ月練習し続ける『芝居漬け』の毎日。演じることの本質を感じ、初心に帰ることのできる時間です。だから、年に一度は必ず舞台の仕事をするようにしています。

4月から出演しているドラマは2クール連続放送で、一つのミステリーを20話ぐらいかけてつくるという初めての経験です。ドラマとしてとてもぜいたくなつくりだと思えます。連続ドラマは演じる僕たちにも先が分からないので、自分たちの力でどう面白くできるか、今からワクワクしています。

——新社会人やこれから社会に出る大学生に向けて、『エール』をお願いします。

ストレスを溜めないよう自分なりのリフレッシュ方法を見つけてください。僕は誰かと食事に行ったり、ジムに行ったりします。体だけでなく、心が疲れてし

素直に自分を

さらけ出すことで

人と通じ合える

「自分です」と自分をさらけ出すことだと思えます。取り繕ったり我慢したりせず、もっと素直になればいい。それで離れる人もいるかもしれないけれど、合わない人とはどうしたって合わないですから。でも、それも一度腹を割って話してみないと分からないですね。

姿を見せあえたから、撮影現場でも本気でぶつかり合える関係が築けたと思えます。僕は人の噂を気にせず、自分で見て判断して、自分が信じたら裏切られても仕方ないという意識で人と接しています。そんな中で、ここまでやってきた。

基本的に入って、もっと良くなるう、みんなで笑っていると思うていると思大事だと思ってる生きてるので、周りの人にもそのワクワクが伝わったらいいなと思います。

や人の悪意が発露しやすいと感じます。それが色々な差別にもつながっている。そう考えた時に、自分は自分のできることを、物語を通してたくさんの人に「皆が楽しく生きられる」というメッセージを伝えようという気持ちでさらに強くなりました。

——共演者と仲が良いことで有名ですね。

人との付き合い方や距離感のとり方はそれぞれあるでしょうが、通じ合うために一番早いのは、「私はこうまうことがつらいから、忙しくなればなるほど、メリハリをつけて、過ごすように心がけています。家族と一緒にいられる時間はあまり多くはないけれど、その分、接する時には思い切り楽しむようにしています。

仕事は楽しいものだけれど、決して「楽」ではなく、学生気分そのままでは戦えない世界です。でも、プレッシャーを一つずつ乗り越えていくことで、できることが増えて、どんどん楽しくなってくるはず。

本来、社会はめっちゃくちゃ楽しいところ。だから、全力で楽しんでください。

田中圭さん主演ドラマ

『あなたの番です』

4月14日(日)22時半から放送中!
(日本テレビ系・毎週日曜22時半~)



マンションに引っ越してきた15歳の差新婚夫婦が住人たちの「交換殺人ゲーム」に巻き込まれる姿を描いたミステリードラマ。

